



## 2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月8日  
東

上場会社名 株式会社すららネット 上場取引所  
コード番号 3998 URL <https://surala.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 湯野川 孝彦  
問合せ先責任者(役職名) 経営管理グループ長 (氏名) 岩水 敬子 TEL 03-5283-5158  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	1,458	△8.2	180	△41.0	184	△40.3	43	△80.5
2023年12月期第3四半期	1,588	△1.2	306	△28.2	310	△31.6	222	△25.6

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 40百万円(△81.1%) 2023年12月期第3四半期 213百万円(△30.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	6.68	—
2023年12月期第3四半期	33.80	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	2,611	2,241	84.8
2023年12月期	2,708	2,251	82.0

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 2,213百万円 2023年12月期 2,219百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	—	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,954	△8.9	160	△58.7	167	△57.2	88	△71.0	13.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期3Q	6,694,764株	2023年12月期	6,694,764株
2024年12月期3Q	248,170株	2023年12月期	136,074株
2024年12月期3Q	6,504,439株	2023年12月期3Q	6,577,178株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は株式給付信託(J-ESOP-RS)を導入しております。信託が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。また、当該信託が所有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上、控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、生産性の向上や賃金の上昇、内需の拡大などにより回復傾向にあります。一方、国際情勢不安、原料・エネルギー価格の高騰によるインフレや円相場下落などの要因により、先行きには引き続き不確実な要因もあります。

当社グループにおいては、従来からの少子化の流れの中で企業間競争が激しさを増しており、経営環境は依然厳しい状況で推移しています。当社が属するeラーニング事業は、令和5年6月に閣議決定された「新たな教育復興基本計画（計画期間2023年～2027年）」をふまえ、当社が開発したICT教材を通じた社会課題の解決と、事業成長の同時実現に向けて活動を行っております。さらに、将来的な競争力強化と市場拡大に向けて、AI技術やビッグデータ分析を活用した次世代教育プラットフォーム開発に着手しています。

eラーニング事業を行っているすららネットでは、「教育に変革を、子どもたちに生きる力を。」を企業理念とし、他社に先駆けた様々な取り組みに挑戦しています。不登校、発達障がい、低学力、貧困といった社会課題に対し、当社ICT教材とコンサルティング力の強みを生かして、一人ひとりに合った学習体験を届け、学校や学習塾、家庭学習、海外等、多種多様な市場において社会的インパクトの創出を推進しています。

当第3四半期連結累計期間において、学校マーケットでは、埼玉県朝霞市の小中学校に「すららドリル」が導入され、児童生徒8,500人が利用開始しました。自治体の不登校支援として4自治体において「すらら」が導入されるなど、自治体契約校舎数は増加しています。

コンテンツ開発では、インドネシア向けに「すらら」算数／数学の小学校高学年の全範囲のローカライズ版をリリースしました。また、2023年春に提供開始した日本語学習ICT教材「すららにほんご」においては、これまでの日本語能力試験N5レベル版に追加するコンテンツとして、新たにN4レベル版をリリースしました。

また、「すららにほんご」は、「第21回日本e-Learning大賞」の「日本語教育特別部門賞」を受賞しました。

今後も日本語能力試験の上位レベルや職業別、多言語展開など幅広いニーズに対応できるコンテンツ拡充の検討を行い、国内外の教育機関や企業へのアプローチを行って参ります。

経営指標である課金対象導入校数と利用ID数につきましては、塾マーケットでは、放課後等デイサービスや中堅大手塾との契約が増え、校舎数及び利用ID数は堅調に推移しております。海外マーケットでは、インドネシアやエジプトでの契約が増え、校舎数及び利用ID数は増加しています。一方、学校マーケットでは、補助金による実証校が大幅に減少したことにより導入校数と利用ID数が減少、BtoCマーケットでは、不登校や発達障がい市場において競合が増加したことにより、利用ID数が減少しました。

その結果、すららネットでの当第3四半期連結累計期間時点における導入校数は2,466校（前年同期比142校減少）、利用ID数は246,801ID（前年同期比181,640ID減少）となりました。

なお、業容の拡大に向けた営業・開発人員の増強、新コンテンツ・システムへの開発投資等については、引き続き積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当社グループ全体の当第3四半期連結累計期間における売上高は1,458,658千円（前年同期比8.2%減少）、売上原価は519,831千円（前年同期比9.5%増加）、販売費及び一般管理費は757,962千円（前年同期比6.2%減少）となりました。

当社グループ全体の当第3四半期連結累計期間における営業利益は180,864千円（前年同期比41.0%減少）、経常利益は184,962千円（前年同期比40.3%減少）、当第3四半期連結累計期間において、連結子会社であるファンタムスティック株式会社に係るのれんの減損損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は43,464千円（前年同期比80.5%減少）となりました。

また、当社グループの事業セグメントは、eラーニング、受託開発、アプリ開発ではありますが、受託開発及びアプリ開発の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント毎の記載を省略しております。

## 〈すららネット課金対象導入校数の推移及び利用ID数の推移〉

年月	導入校数				利用ID数				
	学習塾	学校	海外	合計	学習塾	学校 (注2)	海外	BtoC	合計
2023年9月末	1,182	1,358	68	2,608	18,912	402,313	2,999	4,217	428,441
2023年12月末	1,177	1,366	53	2,596	18,571	402,045	3,204	4,301	428,121
2024年9月末	1,197	1,190	79	2,466	18,986	219,204	4,672	3,939	246,801

(注) 1. 当社ICT教材の導入校数、利用ID数を各マーケット毎に表しています。

2. ご利用いただいている当社ICT教材は以下となります。

すらら：主要5教科の学習を一人一人の理解度に合わせて進めることができるアダプティブなICT教材

すららドリル：ドリル機能、テスト機能に特化した公立小中学校向け「すらら」の姉妹版ICT教材

すららSatellyzer：宇宙をテーマに必要な基礎スキルを身につけていく高校生向け探究学習ICT教材

## 〈すららネット公立学校の導入校数及び利用ID数〉

年月	公立学校（注1）		探究的な学び支援（注2）	
	学校数	利用ID数	学校数	利用ID数
2023年9月末	1,025	326,577	282	133,296
2023年12月末	1,034	326,866	282	133,296
2024年9月末	896	156,765	94	23,542

(注) 1. 経済産業省探究的な学び支援により利用している学校数・利用ID数を含めております。

2. 経済産業省探究的な学び支援により利用している学校数・利用ID数から、当社既存契約校舎が採択された学校数・利用ID数は控除しております。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて97,464千円減少し、2,611,190千円となりました。

企業の安全性を示す自己資本比率は、前連結会計年度末82.0%に対し、当第3四半期連結会計期間末は84.8%となり、2.8ポイント増加となりました。また、支払能力を示す流動比率は、前連結会計年度末357.0%に対し、当第3四半期連結会計期間末は410.6%となりました。

## (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて121,343千円減少し、1,469,787千円となりました。これは主に、現金及び預金が32,452千円、売掛金及び契約資産が85,309千円減少したことによるものであります。

## (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて23,878千円増加し、1,141,402千円となりました。これは主に、ソフトウェアが59,015千円、連結会社であるファンタムスティック株式会社に係るのれんの減損損失の計上によりのがれんが90,253千円減少した一方、ソフトウェア仮勘定が171,587千円増加したことによるものであります。

## (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて87,687千円減少し、357,958千円となりました。これは主に、未払金が38,639千円、未払法人税等が43,416千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて9,777千円減少し、2,241,832千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を43,464千円計上したこと、及び自己株式の取得が49,965千円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2024年8月2日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

今後の状況の変更により、通期の連結業績予想に修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,154,743	1,122,290
売掛金及び契約資産	401,421	316,111
仕掛品	5,427	194
前払費用	31,432	23,375
その他	3,775	12,688
貸倒引当金	△5,667	△4,873
流動資産合計	1,591,131	1,469,787
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	11,623	11,230
建物附属設備(純額)	13,942	12,320
工具、器具及び備品(純額)	1,705	1,304
有形固定資産合計	27,272	24,855
無形固定資産		
ソフトウェア	708,677	649,662
ソフトウェア仮勘定	175,637	347,225
のれん	90,253	—
その他	—	1,177
無形固定資産合計	974,568	998,065
投資その他の資産		
長期未収入金	1,777	1,714
差入保証金	55,866	54,876
繰延税金資産	51,113	55,745
その他	8,767	7,858
貸倒引当金	△1,840	△1,714
投資その他の資産合計	115,684	118,481
固定資産合計	1,117,524	1,141,402
資産合計	2,708,655	2,611,190

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	1,500	—
未払金	150,324	111,685
未払費用	26,456	15,212
未払法人税等	50,042	6,626
未払消費税等	22,267	22,101
前受金	155,232	173,941
預り金	16,722	6,509
賞与引当金	23,100	21,882
流動負債合計	445,646	357,958
固定負債		
株式給付引当金	11,400	11,400
固定負債合計	11,400	11,400
負債合計	457,046	369,358
純資産の部		
株主資本		
資本金	298,370	298,370
資本剰余金	256,865	256,865
利益剰余金	1,746,342	1,789,807
自己株式	△81,833	△131,798
株主資本合計	2,219,744	2,213,244
非支配株主持分	31,864	28,587
純資産合計	2,251,609	2,241,832
負債純資産合計	2,708,655	2,611,190

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	1,588,897	1,458,658
売上原価	474,899	519,831
売上総利益	1,113,998	938,826
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	114,124	83,792
貸倒引当金繰入額	2,411	878
役員報酬	53,348	54,394
給料及び手当	208,481	222,722
賞与	28,709	30,917
賞与引当金繰入額	14,376	8,772
法定福利費	44,544	45,334
旅費及び交通費	34,284	35,709
減価償却費	7,709	11,446
のれん償却額	20,827	13,885
その他	278,855	250,108
販売費及び一般管理費合計	807,674	757,962
営業利益	306,324	180,864
営業外収益		
受取利息	15	102
為替差益	805	—
貸倒引当金戻入額	157	136
違約金収入	—	1,176
補助金収入	—	3,049
助成金収入	3,090	600
その他	1,720	666
営業外収益合計	5,788	5,731
営業外費用		
支払利息	87	0
為替差損	—	1,396
支払精算金	1,431	—
その他	563	236
営業外費用合計	2,082	1,633
経常利益	310,030	184,962
特別損失		
固定資産除却損	—	146
減損損失	—	86,359
特別損失合計	—	86,506
税金等調整前四半期純利益	310,030	98,456
法人税、住民税及び事業税	99,626	62,901
法人税等調整額	△2,724	△4,632
法人税等合計	96,901	58,268
四半期純利益	213,129	40,187
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,209	△3,276
親会社株主に帰属する四半期純利益	222,339	43,464

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	213,129	40,187
四半期包括利益	213,129	40,187
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	222,339	43,464
非支配株主に係る四半期包括利益	△9,209	△3,276

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (セグメント情報等の注記)

当社グループは、全セグメントの売上高の合計額、営業損益の合計額に占めるeラーニング関連事業の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月2日開催の取締役会決議に基づき、自己株式111,900株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が49,965千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が131,798千円となっております。

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	153,876千円	191,327千円
のれん償却額	20,827千円	13,885千円